

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部	教育部			
款	項	目					担当課	社会教育センター			
10	5	3					担当係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習								
		施策の内容	学習機会の充実								
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期5講座、後期5講座に分けて約3か月間（各10回程度）開設する。 1講座当たりの受講者数は、20～40人程度で実施し、市民が気軽に学習活動に参加できる場を設ける。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
			根拠法令	社会教育法							
		対象者	市内在住または在勤の人			事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
		・市民講座開設数 10講座 ・市民講座受講者数 251人		・市民講座開設数 10講座 ・市民講座受講者数 250人		・市民講座開設数 10講座 ・市民講座受講者数 250人		・市民講座開設予定数 10講座 ・市民講座受講予定者数 250人			
成果		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。									
課題		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮し、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標	市民講座受講者数（人）			251	250	250	250	250			
指標											
他市との比較検証	近隣市（安城市）においては、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。										
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳				
	事業費 ①		953	1,032	1,002	1,204	合計 1,002,178 円				
	財源	特定財源	230	229	224	242	報償費 800,000 円				
		一般財源	723	803	778	962	需用費 72,598 円				
	職員人件費 ②		4,208	3,520	3,917	3,802	役務費 42,480 円				
	総事業費（①+②）		5,161	4,552	4,919	5,006	使用料及び賃借料 87,100 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称					
27年度までの累積事業費			0	講座受講料							
29年度以降の事業費見込			0								

会計名			市民講座開設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	社会教育センター
款	項	目		担当係	
10	5	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			学習発表会実施事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	社会教育センター		
款	項	目					担当係			
10	5	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	社会教育センターの利用団体が日頃の学習成果を発表、展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会を年1回、社会教育センター全館で実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	社会教育センター利用団体			事業期間	平成2年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・11月17日（日）開催 ・参加団体数 21団体 ・参加者数 254人 ・入場者数 529人		・11月16日（日）開催 ・参加団体数 20団体 ・参加者数 274人 ・入場者数 547人		・11月15日（日）開催 ・参加団体数 27団体 ・参加者数 322人 ・入場者数 620人		・11月開催予定 ・参加予定団体数 28団体 ・参加予定者数 330人 ・入場予定者数 630人		
成果		学習発表会を通じて、参加者全員が学習意欲の向上と新たな学習課題の発見をすることができた。また、団体間の交流や親睦を深めることができた。								
課題		参加団体数及び参加者数が増加し、入場者数も増加したものの、それぞれをさらにを増やす施策が求められる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	参加団体数（団体）			21	20	27	28	30		
成果指標	来館者数【参加者数+入場者数】（人）			783	821	942	960	980		
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		366	366	366	370	合計	365,500 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000 円		
		一般財源	366	366	366	370	使用料及び賃借料	45,500 円		
	職員人件費 ②		1,403	1,408	1,567	1,521				
	総事業費（①+②）		1,769	1,774	1,933	1,891				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	社会教育センター
款	項	目		担当係	
10	5	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	社会教育センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	社会教育センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	学習成果の発表の場の提供など、市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			親子の公民館活動促進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	社会教育センター		
款	項	目					担当係			
10	5	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	「めばえ図書室」を開設し、乳幼児及び小学校低学年の児童とその親等への図書の貸し出し、講演会、おはなし会等の開催や、読書グループの育成を図ることにより、絵本を通して親子が触れ合い、こどもの心身の健全な育成に寄与する。	主たる内容	図書の購入と貸し出し、読書講演会、おはなし会、学習会、絵本講座を実施する。						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者	乳幼児、小学生低学年とその母親等	事業期間	昭和51年度～						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・読書講演会 4回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 23回 2・3才児向け 27回 園児・小学生向け 33回 ・学習会 22回 ・赤ちゃんの絵本講座 6回 ・図書蔵書数 14,246冊 ・利用者数 5,659人 ・図書貸出数 14,084冊		・読書講演会 3回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 22回 2・3才児向け 24回 園児・小学生向け 34回 ・学習会 28回 ・赤ちゃんの絵本講座 6回 ・図書蔵書数 14,558冊 ・利用者数 5,143人 ・図書貸出数 12,847冊		・読書講演会 4回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 22回 2・3才児向け 24回 園児・小学生向け 31回 ・学習会 34回 ・赤ちゃんの絵本講座 6回 ・図書蔵書数 14,909冊 ・利用者数 6,026人 ・図書貸出数 15,880冊		・読書講演会 3回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 23回 2・3才児向け 24回 園児・小学生向け 33回 ・学習会 39回 ・赤ちゃんの絵本講座 6回 ・図書蔵書数見込 15,200冊 ・利用者数見込 6,200人 ・図書貸出数見込 16,300冊		
成果		絵本の貸し出しを行うとともに、読書講演会や年齢別のおはなし会、保護者向けの学習会や赤ちゃんの絵本講座を実施することにより、親子が絵本を通して触れ合うことができ、こどもの心身の健全な育成に寄与した。								
課題		図書蔵書数は前年比で351冊増え、利用者数が17.2%、図書貸出数が23.6%増加した。さらに利用者数及び図書貸出数を増やす施策が求められる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標		図書室利用者数（人）		5,659	5,143	6,026	6,200	6,500		
成果指標		図書貸出数（冊）		14,084	12,847	15,880	16,300	17,000		
他市との比較検証										
C 事業コスト V		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,517	1,613	1,567	1,722	合計	1,567,386 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	786,300 円		
		一般財源	1,517	1,613	1,567	1,722	報償費	220,000 円		
	職員人件費 ②		1,403	1,408	1,567	1,521	需用費	50,472 円		
	総事業費（①+②）		2,920	3,021	3,134	3,243	使用料及び賃借料	11,150 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	社会教育センター	
款	項	目					担当係		
10	5	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	生涯学習施設（社会教育センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令	社会教育法、刈谷市社会教育センター条例、刈谷市公民館条例					
		対象者	市民		事業期間	昭和50年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・中央公民館利用者数 43,091人 ・施設利用率 34.6%		・中央公民館利用者数 44,517人 ・施設利用率 35.0%		・中央公民館利用者数 46,270人 ・施設利用率 35.3%		・中央公民館利用者数見込 47,000人 ・施設利用率 36.0%	
成果		身近な学習施設である社会教育センターで、公民館利用者が気軽に利用できるような生涯学習の場を提供し、住民の福祉の増進を図った。							
課題		公民館利用者数、施設利用率が前年度と比較して増加したが、さらに公民館利用者数を増やす施策が求められる。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		中央公民館利用者数（人）			43,091	44,517	46,270	47,000	48,000
成果指標		施設利用率（%）			34.6	35.0	35.3	36.0	37.0
他市との比較検証		近隣市（安城市）は、地区公民館単位で施設管理コストの削減に努めている。また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		26,012	26,714	26,229	29,816	合計	26,229,049円	
	財源	特定財源	2,196	2,279	2,396	2,200	需用費	9,484,293円	
		一般財源	23,816	24,435	23,833	27,616	役務費	300,857円	
	職員人件費②		2,805	2,816	3,134	3,042	委託料	16,150,640円	
	総事業費（①+②）		28,817	29,530	29,363	32,858	使用料及び賃借料	293,259円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		社会教育センター使用料					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	社会教育センター		
10	5	3					担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	施設の老朽化が進む中、補修を行うことで耐用年数を延ばすと共に、安全に利用できる環境を整える。	主たる内容	粉末消火設備の修繕を行うことにより、より安心して快適な施設を維持する。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	社会教育法							
	対象者	市民			事業期間	昭和56年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		_____		・西面屋根防水改修工事		・粉末消火設備ポンベ取替修繕		_____		
成果		施設を修繕することにより被害を食い止め、耐用年数を延ばすと共に安全性を高めた。								
課題		施設の老朽化に伴い、随時修繕を行っていく必要がある。								
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
	指標									
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	2,100	3,378	0	合計	3,378,240 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	3,378,240 円		
		一般財源	0	2,100	3,378	0				
	職員人件費 ②		0	704	783	0				
	総事業費（①+②）		0	2,804	4,161	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								